

8月
4日(土)・5日(日)

障がい者交流 いけまぜ夏フェス in あつま

道内各地を会場に行われているイベント「いけまぜ夏フェス」が本年8月4日(土)と5日(日)に本町で開催されることになりました。
障がい児やその家族、サポートするボランティアなど総勢1千500人の集いが見込まれます。
多くの皆様のご協力をお願いします。



テーマ「もちつ もたれつ」



「いけまぜ」とは？

全道各地の障がいのある子どもやその家族(約200家族・600人)が一堂に会し、楽しい体験を通して多彩に交流する1泊2日のイベントです。

「いけまぜ」とは、「生きる」と「まぜこぜ(ごちゃまぜ)」の造語であり、障がい児とその家族、サポーター(ボランティアの皆さん)や地域の人々などが融合し、「話し・歌い・動き・食べる」といった活動を通して「障がい者をありのままに理解し合うこと」「みんなが助け合って生きるやさしい社会をめざすこと」を目的に開催されているものです。

その集いの規模は、サポーターや一般参加者など総勢1千200人を超え、大きな福祉イベントとなっています。

主催は、障がい者の支援グループ「NPO法人障がい児の積極的な活動を支援する会」にわた

りクラブ(理事長・高橋義男とまこまい脳神経外科副院長)で、平成9年から毎年全道各地で開催。初期は札幌市内、その後、古平町、穂別町、蘭越町、白老町、日高町、浦河町、滝川市、千歳市、むかわ町、余市町、恵庭市、夕張市、石狩市の13市町において実施され、昨年は登別市で7月29日(土)〜30日(日)に行われました。

第20回となる今年は、本町のグループ「心身障害児・者親の会『ひまわりの会』(金谷瑠美会長)」の意向もあり、厚真町で開催されることになりました。

本町開催にあたり、厚真町らしい特色を十分に生かした企画をたて、地域間交流を活性化し、障がい児と周囲の人々にとってより良い関係のあり方を追求していきたいと考えています。

いけまぜ夏フェス2018 in あつま

イベント概要

○イベント名 いけまぜ夏フェス2018inあつま

○テーマ もちつ もたれつ

○会期 8月4日(土)〜5日(日) 1泊2日

○会場 メイン会場▷あつまスタードーム
サブ会場▷厚真町スポーツセンター、かしわ公園野球場、厚真中央小学校、厚真中学校

○想定参加者数 1,500人(役員を含めた総数)

[内訳]・障がい児および家族▷600人

宿泊450人(大人250人、子ども200人)

日帰り150人(大人100人、子ども50人)

・町外サポーター▷550人

宿泊430人(大人400人、子ども30人)

日帰り120人(大人100人、子ども20人)

・厚真町サポーター▷350人

日帰り350人(大人350人)

○参加費(食事代・Tシャツ代など)

・参加者

〈宿泊〉大人3,000円、子ども1,500円

〈日帰り〉大人2,000円、子ども1,000円

・サポーター

〈宿泊〉大人2,000円、子ども1,500円

〈日帰り〉大人1,500円、子ども1,000円

※子どもは中学生以下。費用には傷害保険料含む。

※食事等不要の場合および1歳未満は500円(傷害保険料相当)

※町内のサポーターは一律500円(通常1,000円負担のところ、町より500円の支援があります)

○主要内容

1日目(4日) オープニング、ポイントラリー、夕食、アトラクション、打ち上げ花火

2日目(5日) ラジオ体操、朝食、ミニ運動会、フィナーレ、昼食

開催地実行委員会を組織

昨年11月24日、町内団体や関係機関などからなる「開催地実行委員会」(委員43人)を設立、実行委員長には種部健一社会福祉協議会会長が就任し、事務局を社協事務局に置きました。この実行委員会の下に3つの専門部会(会場車輛・イ

町内サポーター募集

イベント当日にお手伝いいただける方を募集しています。

募集期限 6月29日(金)

申込先 開催地実行委員会

サポーターの仕事

会場係、イベント係、調理係、支援係、保育係

いけまぜシンポジウム開催

町民の皆さんにいけまぜの理解を深めていただく催しです。詳細は別にチラシでお知らせします。

日時 5月13日(日) 14時〜16時
会場 総合福祉センター 大集会室

NPO法人障がい児の積極的な活動を支援する会「にわとりクラブ」
☎011-642-2394

開催地実行委員会(厚真町社会福祉協議会事務局内)
☎26-7501

問い合わせ